

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 ハニーバジャー・リニューアル	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.530	△RG 0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ハニーバジャー・リニューアル

フレアーの幅
インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
4
インチ

研磨剤

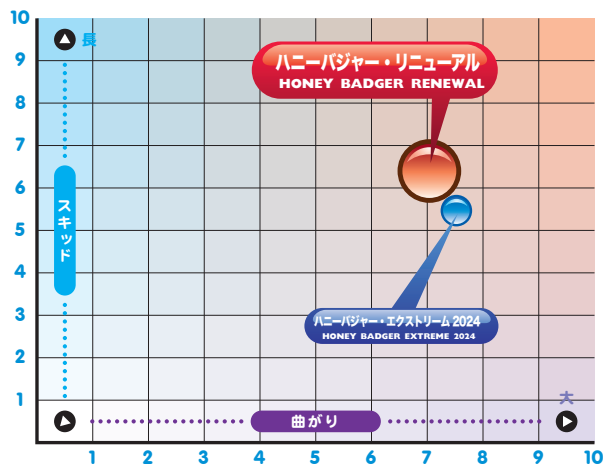
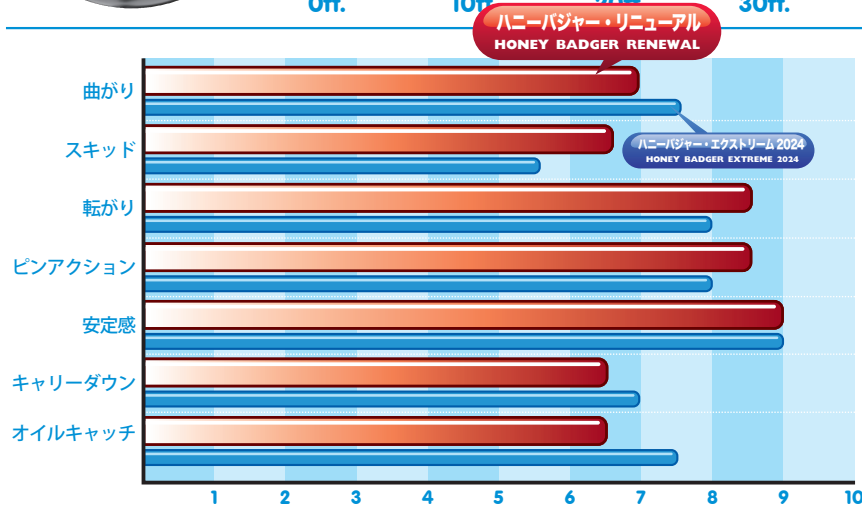
比較対照ボール：ハニーバジャー・エクストリーム 2024

フレアーの幅
インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
4
インチ

研磨剤



ボールの評価

ハニーバジャーシリーズはオイルが薄いコンディション、もしくはオイルが削られてきた後半戦で有効に使えるボールで、ミディアムライトに特化したシリーズと言っても良いでしょう。今回発売するHONEY BADGER RENEWALは、同時発売するHONEY BADGER RUDDY同様、A.I化したGrapnelコアとReserve Blend 700シリーズをカバーストックに採用して、質の高い走りやキャッチ、コアテクノロジーを駆使したネジレとピンキャリアの強化をコンセプトとして生まれました。同時発売する双方のハニーバジャーは配色に留まらずカバーストックにも違いがあります。HONEY BADGER RUDDYはReserve Blend 701 Pearlカバーで、HONEY BADGER RENEWALはReserve Blend 702 Pearlです。702は700シリーズで最大のスキッド力を持つカバーですので、HONEY BADGER RUDDYよりも走る、現行RENEWALが”一番走るハニーバジャー”という表現ができるでしょう。

HONEY BADGER RUDDYでも記載しましたが、GrapnelコアのA.I化はこれまでのハニーバジャーのコアをパワーアップさせ、スキッドの中にもコアが早めに起き上がろうとする感じが見て取れます。その転がりの良さやネジレの大きさはしっかり動きにも反映されていますが、その分Reserve Blendで走りの部分では強化を図っていますので、今までのS74系統のカバーよりもクリーンに走り、新たなハニーバジャーの魅力を見いだせている仕上がりです。

弱すぎることもなく掴みすぎることもなく、オイルが多いコンディション以外を除けば、より多くのボウラーに使用していただける仕上がりですので、後半戦入射角が欲しい際に使用できるボールをお探しの方は見逃せないボールと言えるでしょう。

特記事項

Reserve Blend 702 Pearlで最高峰に走りを感じるカバーと、A.I化により強化されたGrapnelコアの組合せで”走りやキレ”に拘った逸品です。